

特別委員会からの報告

特定の重要な事項を集中的に話し合うため、以下の3委員会が令和5年6月に設置され、2月定例会で調査結果の報告を行いました。※各特別委員会の調査報告書(まとめ)は各QRコードからご覧になれます。

子育て支援特別委員会



◎子育て支援の充実に取り組みことを要望
人口減少に係る課題解消の一助となるよう、子育てしやすい環境を整え、子育て世帯に選ばれ、子育てしなくなるまちを目指すための施策の推進に寄与するため、本市の子育て支援の現状を把握し、子育て世帯の満足度を向上させるための諸方策について調査を行いました。

主な結果として、子育て世帯からの要望が多い経済的負担の軽減に向けて引き続き取組を進めるよう要望しました。

また、妊娠・出産・子育てに関する相談については、全数面接などにおける丁寧な対応や子育て支援センターの相談機能の充実に取り組みとともに、窓口が開いていない時間でも、悩みを解決できるような様々な手段でホームページへ誘導するなどの取組を進めることを要望しました。

さらに、いじめを受けていることやヤングケアラーであることを周りに言い出せない子どもたちが助けを求めやすいような相談体制等の充実を図るとともに、子ども食堂を含めた子どもの居場所づくりへの支援を要望しました。

最後に、各部局で連携して、まちの子育てのビジョンを明確にしたまちづくりを進めるとともに、全庁的に最優先課題として捉え、必要な支援へつなげられるよう強く要望しました。

概要

一般質問

常任委員会の
主な審査内容

部活動の地域連携の あり方検討特別委員会



◎持続可能で多様なスポーツ・文化芸術等に親しむ環境の実現に向け取り組むことを要望
中学校部活動の地域移行における本市の現状や課題を整理し、他都市の取組、課題の解決に向けた諸方策についての調査を行いました。

主な結果として、現在部活動の指導を行っている教職員や地域の指導者に対して、地域連携・地域移行をどのように進めたらよいか、移行後も引き続き指導する意向があるかなどのアンケート調査を行い、実態を把握するよう要望しました。

次に、困窮世帯への支援について、家庭間の経済格差により機会の平等性が損なわれないよう慎重に検討し、具体的な支援を計画し、取り組むよう要望しました。

最後に、地域移行の受け皿となる団体については、会費や指導者への報酬の設定を行う際に市が関与し、方針を示すなど、全ての責任を運営主体に任せるのではなく市が責任を持つことも視野に入れ取り組むことを要望しました。

(参考)

部活動の地域移行とは

生徒数減少による活動内容の縮小化、部の存続の危機、教職員の業務負担増の改善に対応するため、学校で担っている部活動を、地域の文化・スポーツ団体が行う活動に移行していくための環境を整備する国主導の取組。

議決結果、
請願、人事等

特別委員会
からの報告

各委員会の構成等

議会の動き

長崎駅周辺交通対策 特別委員会



◎安全で快適な交通環境を確保するため長崎駅周辺の交通対策の推進に向け取り組むことを要望
長崎駅周辺やスタジアムシティ周辺の交通渋滞対策や長崎駅から浦上駅周辺の混雑緩和について検討しました。

主な結果として、長崎駅周辺の浦上川線から大黒町へ抜ける県道において商業施設に入る車が渋滞していることから、今後、道路標示の改善や左折車線を2車線に増加させるなどの改善を要望しました。

次に、スタジアムシティの東側を通る都市計画道路は、スタジアムでの試合開催時に渋滞することが想定されるため、対策を十分に検討し周知に取り組みよう要望しました。

さらに、スタジアム周辺には救急車を受け入れる病院が複数あり、渋滞時に救急車が円滑に通行することができるよう関係先と協議を進めるよう要望しました。

最後に、市内ではスタジアムシティなどの建設が予定されており、発生集中交通量を想定し、ソフト面だけでなく、車線幅幅などのハード面からも幅広く検討を行うよう要望しました。



▲長崎駅周辺の現地調査